

「子育て」中のよくある悩み

「しかり方」がわからない

まず、こどもの話をきいてみる

「イヤだったんだね」

「〇〇したかったんだね」



理由がうまく言えなくて、泣いてひっくり返ったり、物を投げたりすることもあります。『どうしてそうしているのか』まずは理由を考えてみましょう。こどもの気持ちを言葉で表すと、聞く耳を持つてくれるようになります。

感情的な怒りは伝わらない

「やってほしいこと」「やってほしくないこと」を伝える気持ちが大切

伝わっていないように見えても大丈夫

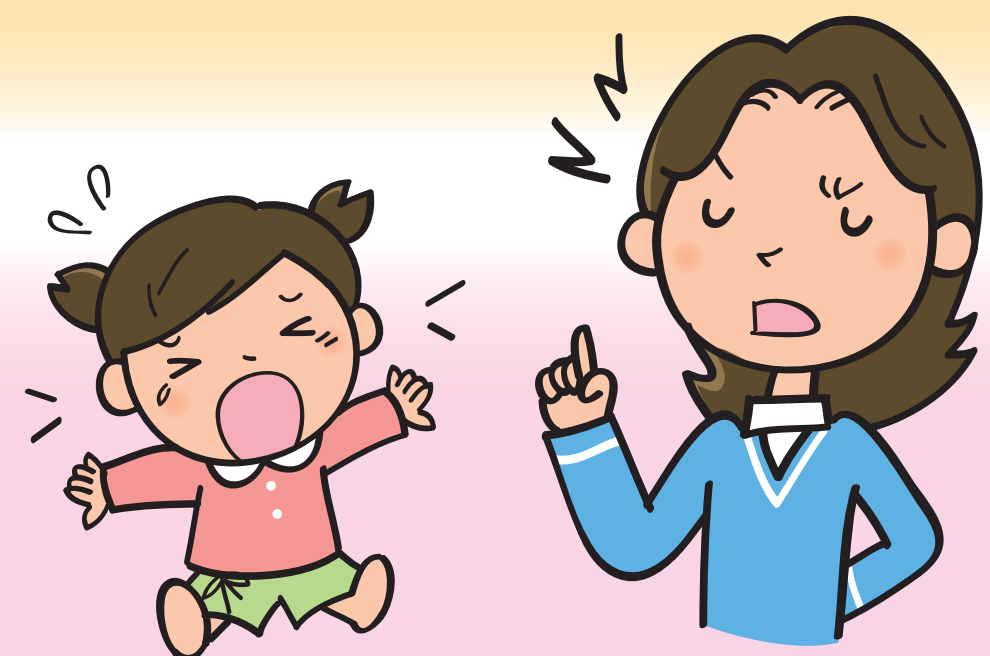


こどもの態度に「全然伝わっていない!」と、親の感情はヒートアップしがちです。こどもが「ごめんなさい」と言ったり、泣いたりするまでしかってしまうより、その都度手短かにしかることを意識する方がよりこどもには伝わります。

根気強く教えることでこどもと一緒に親も育つ

1回言ったらわかるわけではありません。何回言ってもわからないのがこどもです。「言ったらわかるだろう」と思ってしまうとイライラしてしまいます。

本当に“しかる必要がある”場面？



おとなは、しからなくていい場面でも、意外とこどもをしかってしまいます。本当にしかる場面とは、自分や人を傷つけたり、危険な行動をしたりしたとき。「今は本当にしかる場面？」と立ち止まって考えることも必要かもしれません。